

本省庁出向者による座談会



藤平 雅之

財務省財務総合政策研究所総務研究部

藤村 かりん

財務省主計局総務課

田中 飛翔

金融庁証券取引等監視委員会事務局

高桑 唯

財務省大臣官房会計課

西脇 崇

金融庁監督局総務課

◆出向者からみた北海道財務局の魅力は？

【田中】 みんな今、東京で仕事をしていますが、北海道財務局から離れてみて、改めて感じたこととかありますか？

【藤平】 改めて感じたのは、自分の仕事が地元で直接貢献できることですかね。

【藤村】 確かに地元と接している仕事が多いですね。

【西脇】 あと、人間性までみて、ちゃんと自分を評価してくれているって感じるが多かったです。ハラスメントにもみんな真摯に考えていますよね。

【田中】 若手間でいろいろ仕事などの相談ができて横のつながりの良さも改めて感じた。

【高桑】 ちゃんと自分を気にかけてくれているので、仕事でも誰かがいつもフォローしてくれていました。あと、若手でも積極的に業務に携われる環境だったのも東京に来て役立っています。

【藤平】 そうそう。若手同士で情報交換を頻繁に行っているし、上司の方々もしっかり若手の意見を言いやすい雰

囲気を作ってくれているので、上司と仕事の議論して、仕事の方向性に関われたりできるよね。

【田中】 そうだね。職員数も多すぎないから、課の垣根を越えて、みんなを見ることができるし、そのおかげで職場としての結束力も強いよね。

【高桑】 業務ではないですが、ワークライフバランスにもすごい力をいれていると思います。北海道財務局は特に、周りが前向きに取り組んでいるので、自分の時間をとりやすくメリハリがある生活を送れるし、いろんな視点で考える機会も多いですね。

【藤平】 確かに職員の顔が見える職場なので、みなさん仲がいいですね。ソフトボール大会、テニス合宿とか有志でいろいろ楽しい企画やっていますよね。

【西脇】 上司の方々も率先して何事にも積極的に取り組まれているので、若手も自分を成長させる機会を多く持てるのが魅力だと思います。

◆本省庁のやりがいは？

【田中】 みなさん、財務省や金融庁に出向してみようですか？

【藤村】 本省庁ならではの経済対策の補正予算編成など、とても緊張感があり、関わっている仕事が政治に直結していると感じました。

【藤平】 私も東京ならではの仕事は魅力的だと思います。現在、課内の調整のほか各種会議の準備等を行っていますが、今後アジアを中心に約20か国が参加する大規模な会議の運営が待っています。スケジュール調整から参加者の招へい、当日の運営等々ロジ業務のすべてが詰まっているのでとても楽しみにしていますね。

【田中】 そうだね。私も、不正な株取引の調査、取調べをしているけど、北海道ではなかなか経験できないことを経験できるのは魅力だと思う。

【高桑】 私の部署は、各局課からの要望に基づき、契約や業者との調整を行うので、財務省の様々な取り組みを垣間見ることが出来てとても勉強になります。

【西脇】 自分の仕事内容に限らず、職場の周りを見ていると係長、補佐クラスに若い職員が多く、自由に意見を交わすことの出来る良い雰囲気があるなあと思います。弁護士や公認会計士、金融機関等民間企業からの出向者など様々なバックグラウンドを持つ人もいて、様々な角度から見識を深めることができます。

【高桑】 そうですね。ほかにも財務局からの出向者だけでなく税関や国税など色々な出身の人がいるので、いろんな考えに触れられて、視野をひろげるいい勉強になります。

【田中】 みんな、今日はありがとう。引き続き、東京から北海道財務局を盛り上げていきましょう！

